

ちゅうごくライフ

減らせ 食品廃棄 「フードバンク」活動広がる



倉庫に集まった米や野菜、お菓子、調味料などはボックスに仕分けされ、団体に無償提供される＝広島市安佐北区可部3丁目

小売店で回収▼困窮者に配

また十分安全に食べられるのに捨てられてしまう食品をスーパーや食品会社から譲り受け、福祉施設や生活が苦しい人に無償で提供する「フードバンク」という活動が中国地方でじわりと広がっています。その現状を調べました。

2月中旬の木曜日、広島市安佐北区のNPO法人「あいあいねっと」のスタッフ政田穂積さん(37)がスーパー「フレスタ横川店」(同市西区)を訪れ、レトルトカレーや缶詰など計1ケース分を受け取った。その後、3店舗や宅配センターも車で回り、米や豆腐などの提供を受けた。フレスタは2年前から、



食品廃棄の削減と地域貢献のため、フードバンクに協力。賞味期限が迫ったりパッケージが破れたりしたレトルト食品や米、調味料などを無料で譲っている。

あいあいねっとは、病院の管理栄養士だった原田佳子理事長(63)が「お金がなく十分な食事ができない人を救いたい」と2008年に設立。東日本大震災と広島土砂災害の時は支援物資の窓口にもなった。

政田さんは14年に会社を退職後、「世の中の役に立ちたい」と思い立ち、あいあいねっとに連絡。直後に土砂災害が発生し、被災地

はんや...を
食品は週
母子、困窮
る27団体に
る。NPO
ポートネッ
(広島市中
援が必要な
ル1箱分す
明理事長(6
たくさん食
と感謝され

家庭での余りも持

規格外品や売れ残りなどの「食品ロス」は、年間642万トン(農林水産省・環境省の12年度推計)に上る。このうち食品産業からの331万トンの削減に貢献するのがフードバンクだ。フードバンクは米国で1960年代に始まり、国内では00年ごろから広がった。14年2月時点で全国約40団体があり、昨年11月に「全国フードバンク推進協議会」も設立された。



フレスタ横川店で1ケース分の食糧を受け取って運ぶあいあいねっとスタッフ(左)＝広島市西区

中国地方でねっとのほドバンク鳥(鳥取県米開始。11年に福山(広島県山部)が誕生県パーソナルセンター(広島市)も発足し一方、家庭も312万ト削減に家庭で品を持ち寄る「あいあいね」が1役から、広島市安佐北